

特集

「ロシア自動車市場の現状と展望」(上)

ローランド・ベルガー 川原 英司

1. はじめに
2. 世界の中でのロシア
3. ロシア自動車市場
4. ロシア市場に対する業界の見方
5. 自動車産業政策

(次回) 自動車メーカー・自動車部品メーカー

2. 世界の中でのロシア

一の動向

1. はじめに

世界の自動車需要のバランスが徐々にエマージングマーケット（新興市場）にシフトしている。JD パワーなどの調査によると2010年にかけて世界市場平均で数%の成長が予想される中で、BRICsは10%近い成長が予想されている。4カ国合計の自動車市場規模も、1500万台規模

にまで拡大する見込みである。今回は注目される BRICs 市場の中でも、ロシアに焦点を当ててその市場動向、産業政策、各社の取り組みなどをまとめた。

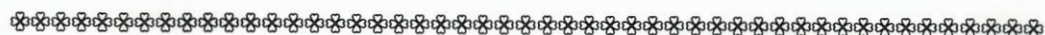
自動車産業にとって、高い経済成長が続くと予想される BRICs への期待は大きい。経済予測機関の今後2010年までの GDP の成長予想は、中国が年平均約 8 %、インド約 7 %、ロシア約 5 %、ブラジル約 3 %となっており、先進国の 1 ~ 2 %程度の成長率を上回る成長が期待されている。

BRICs の中で、ロシアは、経済水準が相対的に高いというのが特徴である。「一人当たり GDP が5,000ドルを超える

図表：BRICs 経済指標比較

	ブラジル	ロシア	インド	中国	BRICs 合計
人口 (億人, 2003年)	1.84	1.43	10.37	13.00	26.64 (世界の45%)
GDP (10億USD, 2005年)	796	763	725	2,234	4,518
実質GDP成長率 (2005年)	2.3%	6.4%	8.4%	10.2%	7.8%
1人あたりGDP (USD, 2005年)	4,320	5,349	706	1,709	1,696

出所：JETRO



とモータリゼーションが加速する」などと言われるが、ロシアはこの分岐点に入ってきている。従って、一部の市場セグメントにおいては先進国市場と同様の特徴などが散見されることとなろう。

ただし、ロシアの経済は、ずっと安定的な成長を続けてきたわけではない。他の発展途上国でも見られるような経済危機を1998年に経験した。この時期ロシア関連のビジネスをしていた人にはこの経済危機の印象が今でも根強く残っていると思う。しかしながら、この経済危機の後、ロシア経済は7年間で顕著な回復を

見せた。GDPは3倍に拡大し、インフレも沈静化。財政支出は黒字化し外貨準備高も15倍に拡大した。海外からの直接投資も約5倍に拡大した。

急速に回復した経済の牽引役はサービス業が大きかったものの、第二次産業も5年間で2.5倍に拡大している。2003年のGDPの中の構成比では、製造業はエネルギー部門に次いで大きく、21%を占めている。そのうち自動車産業は、7%を占めるポジションとなっており、重要性は大きい。

このようなロシア経済の成長は、今後

図表：1998年以降のロシア経済の急回復

	1998	7年間の変化	2005	2006e
GDP [USD bn]	257	↑ x 3.0	763	900
インフレ率	84.4%	↓ / 6.6	12.7%	10.3%
財政収支 [% 対GDP]	-6.0%	↑ + 13.5%	+ 7.5%	+3.9%
外貨準備高 [USD bn]	12.2	↑ x 14.9	182	250
貿易 [USD bn]	115	↑ x 2.4	370	535
海外からの直接投資 [USD bn]	2.8	↑ x 4.7	13.1	15
海外からの直接投資 [% 対GDP]	1.1%	→ + 0.6%	1.7%	1.7%

出所: Goskomstat, EIU, Roland Berger



特集

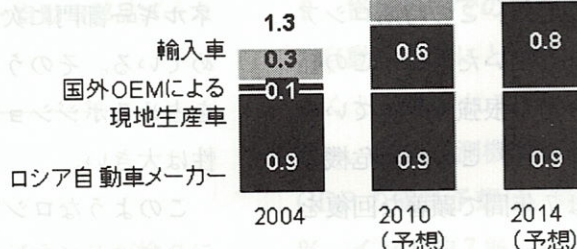
「ロシア自動車市場の現状と展望」(上)

図表：ロシアの新車販売台数予想

ロシア新車販売台数¹⁾ 2004-2014年(予想) [百万台]

国外自動車メーカーブランドの シェア拡大の背景

- ・所得の上昇による高価格車市場の拡大
- ・快速さ、安全性への消費者需要の高まり
- ・車両および車両コンポーネントに対する輸入関税の引き下げ(WTO加盟後加速)



1) 各OEMが公表した計画のみに依拠して算出
出所: J.D. Power, ローランドベルガー 分析

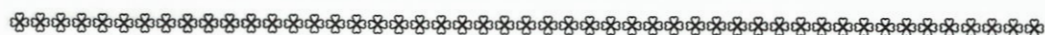
数年間は比較的安定的に持続すると予測され、ロシアの1人当たりGDP成長は、今後数年間で僅かに鈍化していくものの、健全な成長を継続すると予測される。年率7%程度の成長を予想する機関もある。

自動車市場の成長は、国際的に見ても時系列で見ても基本的には経済成長とリンクするので、ロシアの自動車市場は、当面経済成長に伴って安定成長を続けると期待できよう。特に国外の自動車メーカーのロシア現地生産車が成長の牽引役となり、2004年から2014年にかけての自

動車市場の年平均増加台数で見ると、ロシアは、中国、米国、韓国に次いで、世界で4番目に増加台数が大きいと見られている。

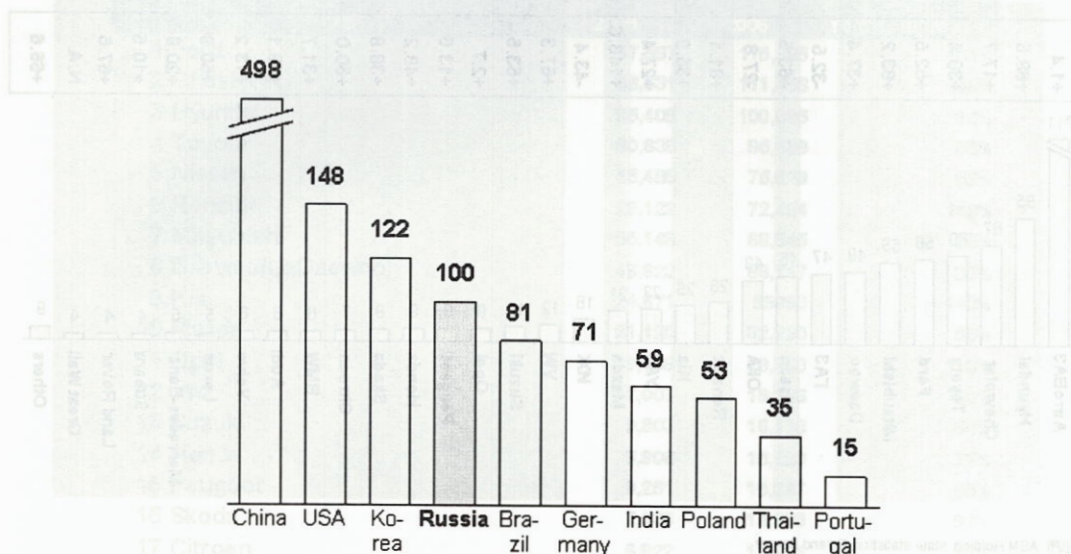
3. ロシア自動車市場

ここで、ロシアの自動車市場を概観してみたい。近年のロシアでの自動車販売台数は力強い拡大を見せ、2005年は対前年比10%、2006年は同21%となった。国産ブランド乗用車の販売が低迷する一方で、海外ブランド乗用車が成長の牽引役



図表：2004-2014における各国の販売台数年平均増加台数予想

2004-2014年における各国の市場年平均増加台数
予測 [千台]

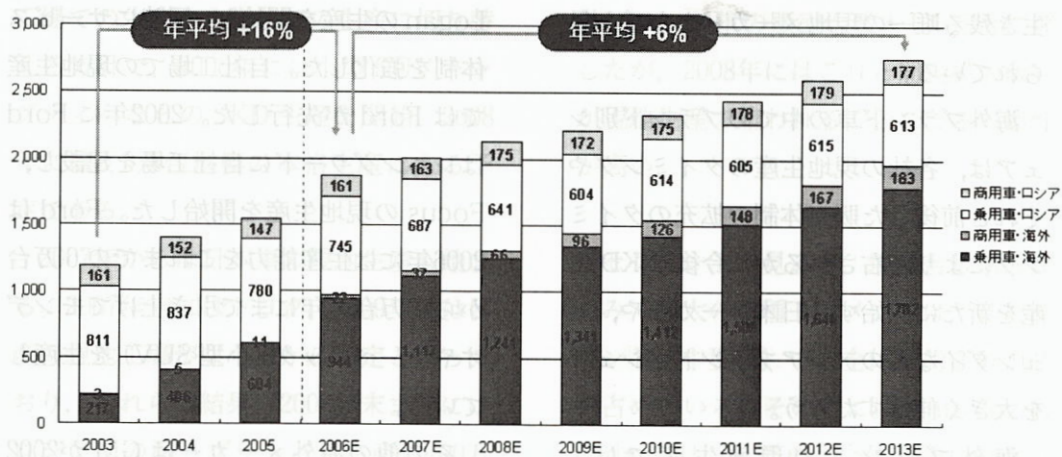


1) 各OEMが公表した計画のみに依拠して算出

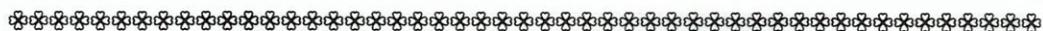
出所: J.D. Power, ローランドベルガー 分析

図表：ロシアでの自動車販売台数推移

ロシア自動車販売台数推移(実績&予測、千台)



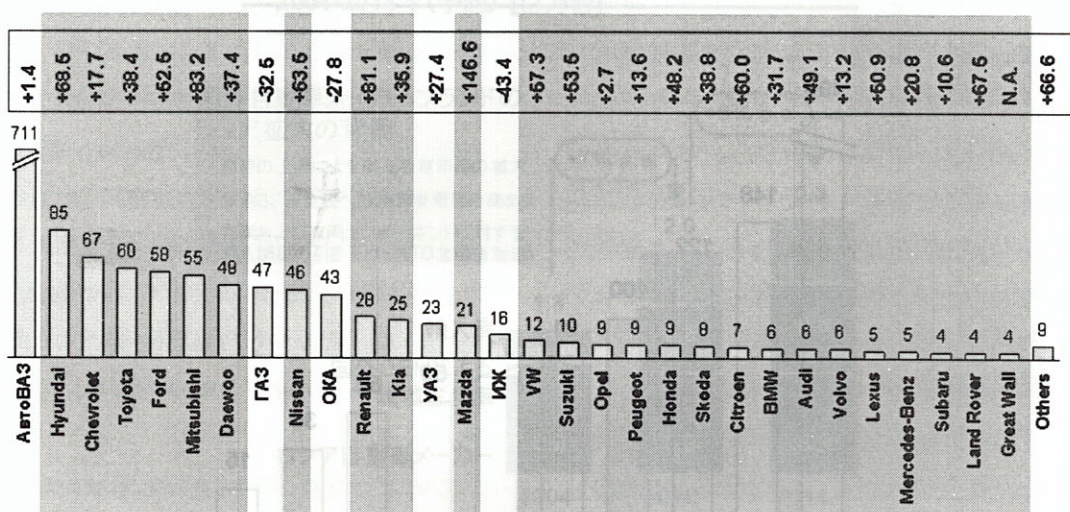
出所: J.D. Power, Roland Berger



図表：ブランド別販売台数および伸び率

ロシアでの乗用車販売台数(2005年、千台)および対前年伸び率(%)

海外ブランド車



出所：ASM Holding, state statistics, Roland Berger

となり市場を急速に拡大させている。

一方、現地メーカーは現在 AvtoVAZ, GAZ, Izh, UAZ などが販売しているが、今後は AvtoVAZ (アフトワズ) が今後生き残る唯一の現地メーカーとなると見られている。

海外ブランド車の中でのブランド別シェアは、各社の現地生産のタイミングやそれと前後した販売体制の拡充のタイミングにより左右されるが、今後は KD 生産を新たに開始する日本メーカーや、ヒュンダイなどのアジアブランドがシェアを大きく伸ばすだろう。

海外ブランドの現地生産では、Renault が先行した。モスクワ市との合

弁 (50%出資) で「アフトフラモス」を設立し、1999年5月から「メガーヌ」を生産していた Renault は、2005年4月から新興市場向け小型戦略車 Dacia Logan の生産を開始し、同時にサービス体制を強化した。自社工場での現地生産では Ford が先行した。2002年に Ford はレニングラードに自社工場を建設し、Focus の現地生産を開始した。Ford は2006年には生産能力をこれまでの6万台から10万台/年にまで引き上げてモンデオやマーベリック (小型 SUV) を生産している。

その他の海外メーカーは GM が2002年に生産を開始した AvtoVAZ との合弁



図表：海外ブランド乗用車販売ランキング

ロシア乗用車販売における海外ブランドTop20 (2006年)

ブランド	2005	2006	YoY, % increase
1 Ford	57,597	115,985	101%
2 Chevloret	66,531	111,458	68%
3 Hyundai	85,408	100,685	18%
4 Toyota	60,638	95,689	58%
5 Nissan	46,485	75,529	62%
6 Renault	29,122	72,484	149%
7 Mitsubishi	55,148	68,845	25%
8 Daewoo(UzDaewoo)	48,623	66,717	37%
9 Kia	24,671	59,993	143%
10 Mazda	21,120	32,290	53%
11 Opel	9,398	19,983	113%
12 VW	12,007	19,186	60%
13 Suzuki	9,803	16,118	64%
14 Honda	8,906	15,723	77%
15 Peugeot	9,251	15,287	65%
16 Skoda	7,535	14,835	97%
17 Citroen	6,922	11,934	72%
18 Volvo	5,713	10,801	89%
19 Lexus	5,369	10,065	87%
20 Audi	6,115	10,050	64%
Foreign Brand Total	607,442	1,008,826	66%

出所：2005年はASM Holding、2006年は報道ベース

工場での生産から単独での生産に切り替える方針で、2006年には小型 SUV キャプティバなどの SKD 生産を開始、2008年には2.5万台規模の本格生産に入る予定である。

2007年からは日本車の現地生産も始まる。2007年末にはトヨタ、2009年には日産の現地工場が立ち上がる予定となっており、これらの結果、2008年末までには、ロシアでの海外ブランド車生産は100万台に達すると見込まれる。2006年には海

外ブランド車の販売台数が100万台に達したが、2008年にはこれと同規模の販売が現地生産で賄われることになる可能性が高い。

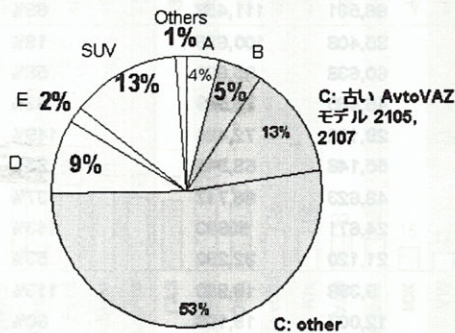
セグメントで見ると、現在台数構成比でみて最大の車種セグメントは、Cセグメント（中型車）で、全体の約3分の2を占めている。その中には AutoVaz の Lada の古いモデルも全体の約13%含まれている。今後10年間くらいの間に、C



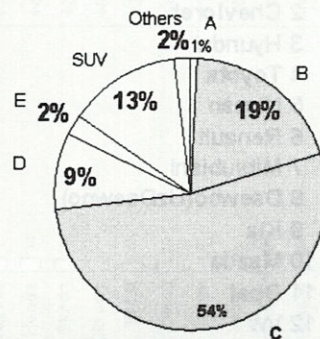
図表：セグメント別販売シェア

セグメント別販売シェア

2005年 [%]



2016年 [%]



出所: ASM Holding, 国家統計, ロールランドベルガー分析

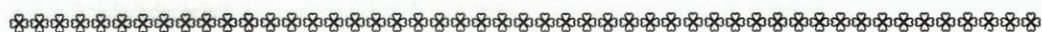
セグメントは50%強にまで縮小（古いモデルの分のシェアが減少）すると考えられるが依然最大の台数構成比を占めると予想される。今後10年間に大きな成長が見込めるセグメントに、小型のBセグメントがある。現在は約5%程度の構成比だが、10年後には20%近くにまで上昇すると見られる。SUVのシェアは15%弱で大きな変化はないと考えられる。長期的には、ロシア市場は米国市場と似ているとも言われており、米国の車種構成に近づく部分もあるだろう。

中心価格帯は、今後10年間でやや上方にシフトすると考えられるものの、

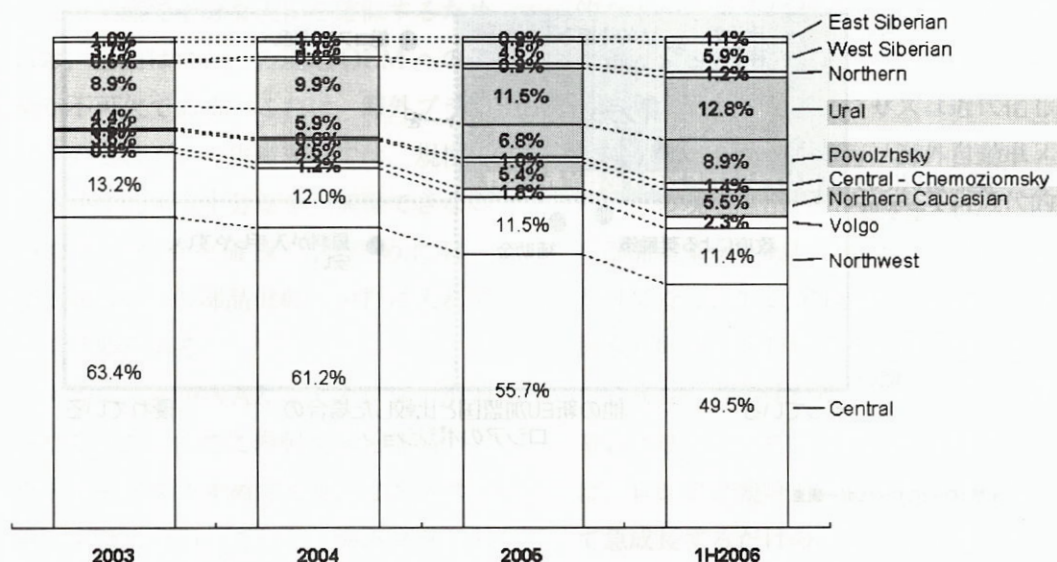
USD 15,000–20,000の価格帯が今後も主流となると考えられ、海外ブランドの現地生産計画でもこの価格帯が中心となっている。これ以上の価格帯のモデルの販売台数は、せいぜい2.5万台／年程度にとどまっているものが多い。

保有車両の車齢を見てみると、車両の老朽化が進んでいることがわかる。現在車齢が10年を越えている車両が既に半数を超えており（日本の場合は約4分の1）、今後はこれら古い車両の代替需要が発生してくる可能性が高い。

地域別に見ると、モスクワを中心とする「Central」地域が市場の半分を占め



図表：地域別市場分布



出所: AEB Sales Report

る一方、ロシア南西部の「Ural」、
「Povoljie」、 「North Caucasus」などの
地域での成長が大きい。今後市場が地方
への波及により成長が下支えされると同
時に市場の特徴も変化していくことにな
ろう。

4. ロシア市場に対する業界の見方

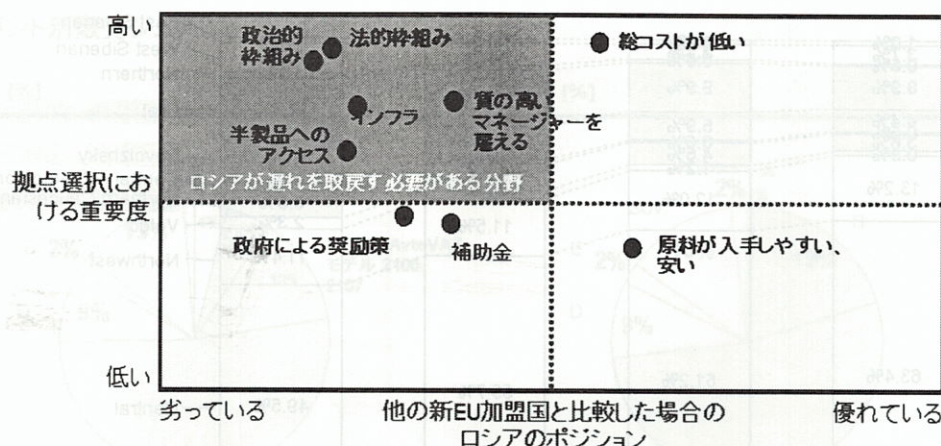
最近、ローランド・ベルガーではロシ
アの自動車産業について、自動車関連企
業や政府などの業界関係者に50以上のイ
ンタビュー調査を実施した。

ロシアの経済成長と雇用拡大にとって、
自動車産業は戦略的に重要であると位置
づけられている一方、そのロシアにおい

て、グローバル自動車メーカーは未だ大
きなプレゼンスを確立できていない。そ
の背景には、強力なサプライヤー産業が
育っていないことがある。グローバルト
ップ20のサプライヤーは中東欧には150
もの生産拠点を抱えている一方で、ロシ
アには僅かな拠点しかない。

インタビュー結果では、他の新 EU 加
盟国と比較すると、サプライヤーの生産拠
点として考えた場合の現状のロシアは、
戦略的に重要な項目において劣っている
という評価となっている。つまり、拠点
選択の際に重要視される「法制システム」
「政治システム」「インフラ」「質の高い
マネージャー確保の可能性」「調達部品へ

図表：部品生産拠点としてのロシアの競争力

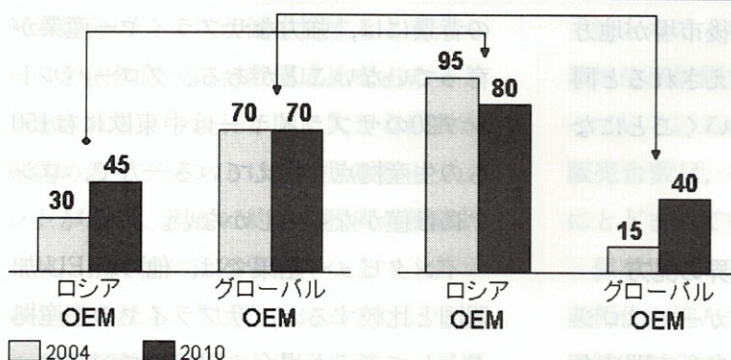


出所：ローランド・ベルガー調査

図表：ロシア部品産業の成長のドライバー

ロシアでのOEMの価値創造においてサプライヤーの占めるシェア [%]¹⁾

現地調達率 [%: サプライヤーの占めるシェアの中の現地の割合]²⁾



□ 2004 ■ 2010

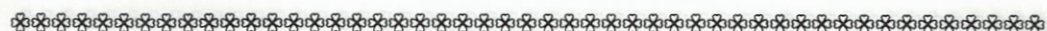
1) 付加価値に占めるパーセンテージ 2) 情報ベース: 15のインタビュー
出所: インタビュー

ポイント

- ロシアOEMは今後アウトソースを増やし、特に海外サプライヤーの活用を増やす見込み
- グローバルOEMが調達するロシア現地製部品の割合は増加し、2010年には現地調達率は現状の3倍の40%に達する見込み

のアクセス」などにおいて低い評価となっている。
とはいえ、部品メーカーは、このよう

な障害があるからこそ、今後の海外ブランド車の製造拡大に対応する拠点を早期に立ち上げることは競争優位につながる



面もある。部品メーカーにとって、ロシアでの生産で十分な規模を確保するためには、当面はロシアの現地 OEM への供給が不可欠である。これは、海外ブランド車のそれぞれの生産規模では、規模の経済性に達する十分な量が確保できないからだ。規模を確保するためには、AvtoVAZ への部品供給も視野に入れておく必要がある。

実際に、AvtoVAZ などのロシア現地 OEM はこれまでに内製だった部品のアウトソースをすすめており、ビジネスチャンスは大きい。これと、海外ブランド車の現地調達拡大に対応した部品供給が、サプライヤー産業の成長のドライバーとなるだろう。インタビュー結果でも、今後5年以内にロシア進出を予定している海外サプライヤーは約半数に及ぶ。

また、インタビュー回答者は、ロシアの現地サプライヤーの発展は、海外部品メーカーとの JV などのパートナーシップを通してのみ発展することができると考えており、またそのような現地部品メーカーとの JV には、海外部品メーカーにとってもメリットがあると考えている。現地部品メーカーは、テクノロジー、生産技術、品質システムが補完され、海外部品メーカーは、顧客基盤へのアクセス、地域市場へのアクセス、資本、既存の組織・オペレーションを得ることができる。

インタビュー回答者の持つ仮説で特徴的なものを以下に挙げる。「ロシアの自動車産業は持続的な成長段階へと入りつつあり、製品や製造プロセスは近代化し、組織が確立しつつある。」「海外自動車メーカーの現地進出の拡大により、近代的な部品産業が新興しつつある。」「ロシアだけでなく、ロシア経済圏（CIS：独立国家共同体を含む）やその周辺圏もさらなる成長の可能性を持っている。」「法体系およびビジネスの枠組みが整備されれば、ロシアは競争力のある生産拠点として急成長するだけのリソース基盤を擁している。」「ロシアは、当面の市場の成長期待だけでなく、いずれは輸出拠点としての可能性も持っている。」これらを総合すると、遅くとも10年後には、ロシアの自動車産業は発展に向かっていると考えられる。

5. 自動車産業政策

では、多くの新興市場で重要な、自動車産業政策は、ロシアではどうなっているのだろうか。

基本的に、ロシアの自動車産業政策は、インドなどと同様に、かつての国産車保護から徐々に外資の直接規制を緩和する方向にある。これは、ロシアの自動車産業の発展には、遅れている資本投資でのキャッチアップが必要と認識されてきた



図表：法令135と新法令166の比較

	法令135 – “エリツイン decret” (1998年2月)	新法令166 – “Industrial assembly” (2005年3月)
有効期間	・ 7 年	・ 未開発用地 – 8 年 ・ 工場用地 – 7 年
部品の輸入関税	・ From 14.5% to 0%	・ From 14.5% to 0% (加重平均 ²⁾)
投資要件	・ 5年内で最低 RUR 1,500 m ・ ロシア側パートナーとのJVの場合はmin. RUR 150 m	・ 最低投資額の規制は無し
生産量に関する要件	・ 量に基づく規制を毎年実施	・ 実際の生産量25,000台(2シフト)以下には適用されない
製造内容に関する要件	・ 調印後、36ヶ月間の溶接、塗装、組立	・ 溶接、塗装、組立 - 未開発用地は調印後36ヶ月 - 工業用地は調印後18ヶ月
現地調達率要件 ¹⁾	・ 生産開始後12ヶ月間 – 15% ・ 生産開始後24ヶ月間 – 20% ・ 生産開始後36ヶ月間 – 30% ・ 生産開始後48ヶ月間 – 40% ・ 生産開始後60ヶ月間 – 50%	現地調達率目標(カッコの中は、全部品価値における%) ・ 生産開始後24ヶ月間 – 10% ²⁾ (7%) ・ 生産開始後42ヶ月間 – 20% ²⁾ (14%) ・ 生産開始後54ヶ月間 – 30% ²⁾ (21%)
事例	・ Ford	(計画) Renault, Toyota, DCX, Volkswagen

1) 法令135では現地製造コストに基づく。新法令166では輸入部品の工場仕入れ価格(サプライヤー)に基づく

2) 減税が達成されるかどうかに関わらず、車体価値は、最終的にはロシア連邦経済省が決定

3) プジョー307のコスト構造に基づく

出所:ロシア関税規制;経済発展貿易省、インデュー

からである。2002年時点で自動車産業における生産台数あたりの資本投資額は、ロシアはドイツの約5分の1、スロバキアと比較しても2.5分の1の規模でしかなかった。

直接投資を促進する具体的施策としては、直接投資を伴う部品輸入の場合の輸入関税引き下げがある。CKD 部品の輸入関税は、直接投資契約を伴う場合、現行の平均約11%から今後は約3%へ減率されると見られている。ただし、完成車の輸入関税は、国産化推進のため、今後4年間は25%で維持固定した後、その後5年～7年間で段階的に15%にまで引き下げられる見込みとなっている。

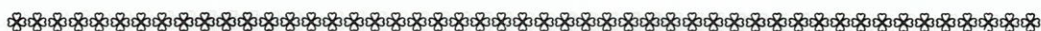
現地生産を促進する輸入関税に関する法制度として、2005年3月に発令された「新法令166」が注目されている。これは、1998年2月に制定された「法令135」を発展させたもので、現地で、一定の工程を含む工場を一定期間内に稼働させ、現地調達率の目標を定期的に達成していくことによって、部品の輸入関税率を優遇するという法令である。製造工程として求められるのはボディ溶接、塗装、組立の各工程である。この工程を含む工場で、調印後36ヶ月以内（もともと工業用地であった場合には18ヶ月以内）に量産体制に入ることが求められる。また、現地調達率は、生産開始後24ヶ月以内に標準部

図表：新法令166に掲載されている標準部品リストと関税率比較

Code TNVED Russia	内容	通常の輸入関 税	法令135適用時 の輸入関税	新法令166適用 時の輸入関税
3209 10 000	Paints and varnishes (including enamels and lacquers) based on synthetic polymers or chemically modified natural polymers, dispersed or dissolved in an aqueous medium (Based on acrylic or vinyl polymers)	15%	割当数量を超 過したり、現地 調達率向上の 要件を満たさ なかったりしな い限り、0%	0%
3910 00 000	Silicones in primary forms	10%		0%
3917 31 900	Flexible tubes, pipes and hoses, having a minimum burst pressure of 27.6 MPa	10%		0%
3926 30 000	Fittings for furniture, coachwork or the like	10%		0%
4009 12 900	Tubes, pipes and hoses, of vulcanized rubber other than hard rubber, with or without their fittings	5%		0%
4016 93 900	Other articles of vulcanized rubber other than hard rubber	15%		0%
7007 11 100	Toughened (tempered) safety glass	15%		3%
7007 21 910	Laminated safety glass	15%		3%
7009 10 000	Rear-view mirrors for vehicles	15%		3%
7320 20 200	Hot-worked helical springs	15%		0%
7320 20 810	Coil compression springs	15%		0%

Code TNVED Russia	内容	通常の輸入関 税	法令135適用時 の輸入関税	新法令166適用 時の輸入関税
7320 20 850	Coil tension springs	15%		0%
7320 20 890	Other non-hot-worked helical springs	15%	割当数量を超 過したり、現地 調達率向上の 要件を満たさ なかったりしな い限り、0%	0%
8301 20 000	Vehicle locks	20%		3%
8301 60 000	Parts of vehicle locks	20%		0%
8302 30 000	Base metal mountings, fittings and similar articles suitable for motor vehicles	20%		3%
8302 60 900	Automatic door closers	20%		3%
8407 34 100 0	Reciprocating piston engines of a kind used for the propul- sion of vehicles of a cylinder capacity exceeding 1 000 cc	10%		0%
8407 90 500 0	Spark-ignition reciprocating or rotary internal combustion piston engines of a cylinder capacity exceeding 250 cc	10%		0%
8408 20 100 0	Compression-ignition internal combustion piston engines (diesel or semi-diesel engines) for the assembly of motor vehicles	10%		0%
8409 91 000	Parts suitable for use solely or principally with spark-ignition internal combustion piston engines	5%		0%
8409 99 000	Parts for other engine types	5%		0%

Code TNVED Russia	内容	通常の輸入関 税	法令135適用時 の輸入関税	新法令166適用 時の輸入関税
8413 30 910	Fuel pumps	5%		0%
8413 30 990	Fuel, lubricating or cooling medium pumps for internal combustion piston engines other than injection pumps	5%	割当数量を超 過したり、現地 調達率向上の 要件を満たさ なかったりしな い限り、0%	0%
8413 91 900	Parts of pumps for liquids, whether or not fitted with a measuring device; parts of liquid elevators	5%		0%
8415 20 000	Air conditioning machines of a kind used for persons in motor vehicles, comprising a motor-driven fan and elements for changing the temperature and humidity, including those machines in which the humidity cannot be separately regulated	10%		0%
8415 90 900	Parts for the ventilation system (including AC systems with no separate humidity regulation)	5%		0%
8419 39 900 2	Heating system	5%		0%
8483 10	Transmission shafts (including cam shafts and crank shafts) and cranks	5%		0%
8483 30 900	Bearing housings, not incorporating ball or roller bearings; plain shaft bearings	5%		0%
8507 10 810	Accumulators with lead acid	15%		0%
8511 40 900	Starter motors and dual purpose starter-generators	15%		3%
8511 50 900	Other generators	15%		0%



輸出税率関税コード品名等に関する付添表(2016年適用)：韓国

Code TNVED Russia	内容	通常の輸入関 税	法令135適用時 の輸入関税	新法令166適用 時の輸入関税
8512 20 000	Lighting or visual signaling equipment	10%	割当数量を超 過したり、現地 調達率向上の 要件を満たさ なかったりしな い限り、0%	0%
8512 30 000	Acoustic alarms	10%		0%
8512 40 000	Windscreen wipers, defrosters and demisters	10%		0%
8512 90 000	Parts for the group 8512	10%		0%
8526 92 900	Radio remote control apparatus	10%		0%
8527 21 200	Radio with laser reading system	10%		0%
8527 21 620	Cassette radio	10%		0%
8527 21 690	Other radio devices with laser reading system	15%		0%
8527 29 000	Other radio devices	15%		0%
8531 10 200	Alarm systems for motor vehicles	5%		0%
8536 20 100	Automatic circuit breakers for a current not exceeding 63A	16%		0%
8536 20 900	Automatic circuit breakers for a current exceeding 63A	16%		0%
8536 60 110	Push-button switches for less than 60V	16%		0%
8536 60 160	Rotary switches for less than 60V	16%		0%
8536 60 190	Other switches for less than 60V	16%		0%

Code TNVED Russia	内容	通常の輸入関 税	法令135適用時 の輸入関税	新法令166適用 時の輸入関税
8539 21 300	Tungsten halogen lamps	20%	割当数量を超 過したり、現地 調達率向上の 要件を満たさ なかったりしな い限り、0%	0%
8539 29 300	Other filament lamps excluding infrared and ultraviolet	15%		0%
8543 89 200	Antenna power reinforcing device	5%		0%
8544 30 900	Ignition wiring sets and other wiring sets of a kind used in vehicles	20%		3%
8706 00 910	Chassis fitted with engines for passenger cars (Group 8703)	15%		0%
8707 10 100 0	Car body for passenger cars (Group 8703)	16%		0%
8708 10 100 0	Bumpers and bumper parts	5%		0%
8708 21 100 0	Safety seat belts	5%		0%
8708 29 100 0	Other car body parts	5%		0%
8708 31 100 0	Mounted brake linings	5%		0%
8708 39 100 0	Brakes, servo brakes and their components for disc brakes	5%		0%
8708 40 100 0	Gear boxes	5%		0%
8708 50 100 0	Drive-axes with differential, whether or not provided with other transmission components	5%		0%

Code TNVED Russia	内容	通常の輸入関 税	法令135適用時 の輸入関税	新法令166適用 時の輸入関税
8708 60 100 0	Pusher axles and components	5%	割当数量を超 過したり、現地 調達率向上の 要件を満たさ なかったりしな い限り、0%	0%
8708 70 100 0	Tires, wheels, their parts and fixings	5%		0%
8708 80 100	Suspension-shock absorbers	5% / 15%		0%
8708 91 100 0	Radiators	5%		0%
8708 92 100 0	Silencers and exhaust pipes	5%		0%
8708 93 100 0	Clutches and parts thereof	5%		0%
8708 94 100 0	Steering wheels, steering columns and steering boxes	5%		0%
8708 99 300	Stabilizer bars	5%		0%
8708 99 980	Other mechanical parts	5%		0%
9026 20 300	Electronic devices for pressure measurement and checking	10%		0%
9029 20 310	Speed indicators and tachometers	15%		3%
9104 00 900	Instrument panel clocks	20%		3%
9401 20 000	Seats	20%		5%
9401 90 800	Seat parts	20%		0%
9603 60 000	Brushes as parts of components of transportation devices	20%		0%

品リスト掲載の部品の10%、42ヶ月以内に20%、54ヶ月以内に30%の達成が義務付けられている。これは、60ヶ月以内に50%の現地調達率を要求していた「法令135」よりもゆるい基準となっている。代わりに、優遇後の輸入関税率は、「法令135」では適用前の平均14.5%が0%となるのに対して、「新法令166」では加重平均で2%までの優遇となり、優遇幅は若干小さい。とはいえ、「新法令166」に従うと、標準輸入関税の場合と比べてコストの最大約2割を低減することが可能と試算され、多くの海外自動車メーカーがこの新法令の適用を計画している。

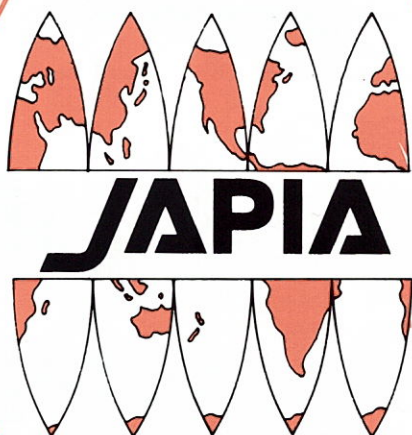
を認める「改定外資法」や、「自由経済特区（SEZ）に関する新法」が規定する優遇策もあり、海外メーカーの現地工場進出に当たっては、これらの政策的側面も考慮しながら、需要動向、経済動向、競争環境、産業インフラ、社会インフラなどを総合的に評価して、タイミング、立地、規模、生産車種を決定していく必要がある。

次回は、ロシアに既に進出している、もしくは進出を検討している自動車メーカーや自動車部品メーカーの動向についてももう少し詳細に紹介する。

この法令以外にも、外資に幅広い優遇	QSS	南支東園
定例同業会社304社、平成10年度自動車部品出荷額は、17兆5650億円(支)輸出中8.9兆と増(2.18)。このうち平成18年度及び17年度の両年度に同様のあ増(2.18)増(2.08)。16年度は16.4兆増となった。	TCF	信 合

月刊 自動車部品

《特集》
ロシア自動車市場の現状と展望
平成17年度「自動車部品出荷動向調査」概要



2007

3

社団法人 日本自動車部品工業会